



いつの世も、お金は人騒がせ

参議院議員
名誉顧問

藤井基之



安政六年（一八五九年）八月、次のような出来事があったと当時の『瓦版』が伝えています。

目出度かりける次第なり

下手な現代語訳をしてみますと、

「時に安政六年八月廿四日 松平主水様御知行所下総国結城在吉田村百姓五郎衛門宅地の井戸普請に付あまたの棒金を掘出し余り不思議なる事故さつそく 御上様江御訴申上候処 右五郎衛門江地面にて 五千石永代被下置、誠に前代未聞の事とすべし」

「時は安政六年八月二十四日、松平主水様の所領する下総国結城（今の茨城県結城市）の吉田村の農民、五郎衛門の宅地で井戸を掘っていたところ沢山の棒金が出てきた。余りに不思議なことであったので、早速お上に届け出たところ、五郎衛門に土地面積にして五千石が与えられた。棒金は周囲八寸（約二十六cm）、長さ二尺五寸（約八十二cm）あり、金額にすると一本につき三六〇〇両、総額は三二四〇万両（当時一両は約一〇万円程）程になる。」

右棒金の丸さ八寸廻り長さ二尺五寸、但し壹本に付き代金に積り三千六百両程 棒金数九千本惣高メ凡三千三百四十万両程 右結城は鎌倉頼朝公時代結城七郎朝光より数代の居城跡也、右等の珍事有之も 時の御仁徳、益天下泰平御世万代のしるしとすべし

「時は安政六年八月二十四日、松平主水様の所領する下総国結城（今の茨城県結城市）の吉田村の農民、五郎衛門の宅地で井戸を掘っていたところ沢山の棒金が出てきた。余りに不思議なことであったので、早速お上に届け出たところ、五郎衛門に土地面積にして五千石が与えられた。棒金は周囲八寸（約二十六cm）、長さ二尺五寸（約八十二cm）あり、金額にすると一本につき三六〇〇両、総額は三二四〇万両（当時一両は約一〇万円程）程になる。」

城としていた跡地であった。このような珍事があるのも、お上の御仁徳、益々天下泰平の時代が長く続くしるしであり、おめでたいことである。」

安政の頃と言えば、同六年、日米修好通商条約により横浜港が正式に開港。翌年三月には、時の大老井伊直弼が、開国に怒った水戸の浪士に桜田門外で暗殺されるという、幕末動乱の日本国中ひっくり返るような騒がしい時代でしたのに、「天下泰平御世万代」とは、庶民にはどこか別の世界の話だったでしょうが。

その一方、同じ安政年間にこんな「一獲千金」の話もあります。当時、開国に当たり幕府は米国と、通貨の交換レート、つまり小判とドルの交換レートについて交渉しまし

た。幕府は、当時の小判の金の含有量から計算して、一ドル＝一分を要求しました。一両小判の金の含有量からすれば一両＝四ドルに相当する。一両は四分ですから、一ドル＝一分がちょうどいいレートだったのです。しかし、結局、一ドル＝三分という大変低い交換レートになってしまいました。

の三十六分を当時の小判に再交換すると九両（一両＝四分）になります。そして、この小判九枚を金の地金として売ると、実は金の量で計算すると一両は四ドル相当の金を含んでいますから、三十六ドルに相当することになります。なんと十二ドルの元金が三倍の三十六ドルになるのです。外国人達は先を競って大金儲け。通貨交渉に当たった米国総領事のハリスまでもが利益を挙げたと日記に記しています。この不公平な交換レートによって、小判は金の地金として大量に海外に流出してしまいました。

幕末の安政年間の二つの「濡れ手に粟」のお話。今、一ドル＝一円から一〇二円台で推移しており、円安により、日本の輸出産業を中心に景気は回復しつつありますが、お隣の韓国ではウォン安で打撃を受けているそうです。また、外国では沈没船から数億もの金銀、財宝が引上げられた等というニュースも伝えられます。いつの世も、お金というもの騒がしいものですが、いざれにしても、景気も上向く中、一日も早く元気な日本を再生したいものです。

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー：薬物乱用のない社会)社会創りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参議院厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス 振興財団 専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人 日本薬剤師会 常務理事
平成13年 参議院議員（1期目）
平成16年 厚生労働大臣政務官（平成16年9月～平成17年11月）
日本薬剤師連盟 顧問
平成22年 参議院議員（2期目）
平成23年 参議院政府開発援助等に関する特別委員会 委員長
平成24年 自由民主党広報本部 副本部長
広報本部新聞 出版局長
平成25年 自由民主党党紀委員会 委員
裁判官弾劾裁判所 裁判員
現在 原子力問題特別委員会 委員長
- その他
慶應義塾大学薬学部 客員教授
昭和大学薬学部 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
京都薬科大学 客員教授
近畿大学薬学部 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師